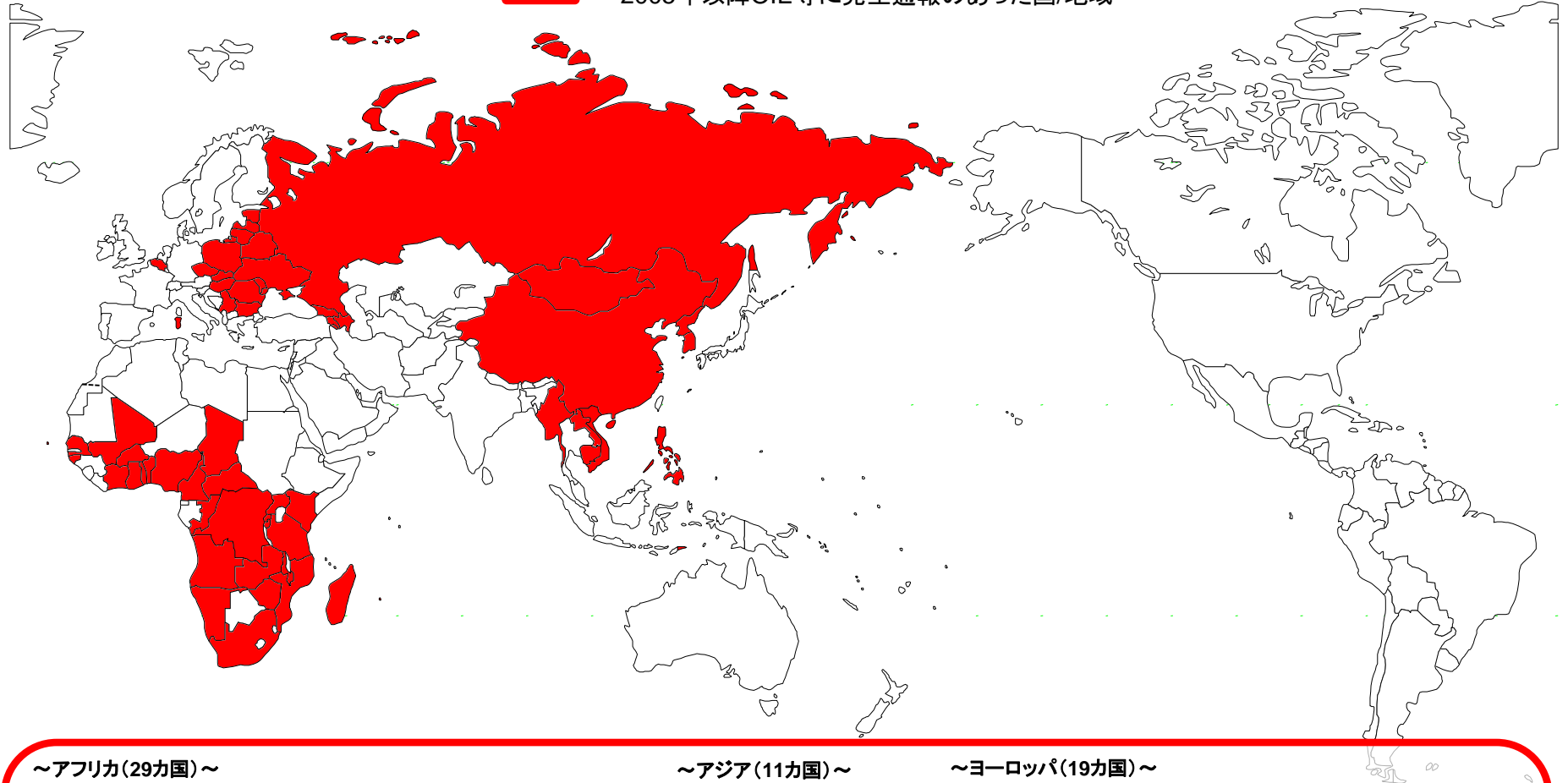


※ 黄色は飼養豚及び野生イノシシでの発生県。斜線は野生イノシシ発生県。
数字は飼養豚での発生農場。カタカナは関連農場等。

ASFの発生状況

2019年12月6日現在

=2005年以降OIE等に発生通報のあった国/地域



～アフリカ(29カ国)～

アンゴラ	チャド	マダガスカル
ベナン	コンゴ民主共和国	マラウイ
ブルキナファソ	コンゴ共和国	モーリシャス
ブルンジ	コートジボワール	モザンビーク
カメルーン	ガーナ	ナミビア
カーボヴェルデ	ギニアビサウ	ナイジェリア
中央アフリカ	ケニア	ルワンダ

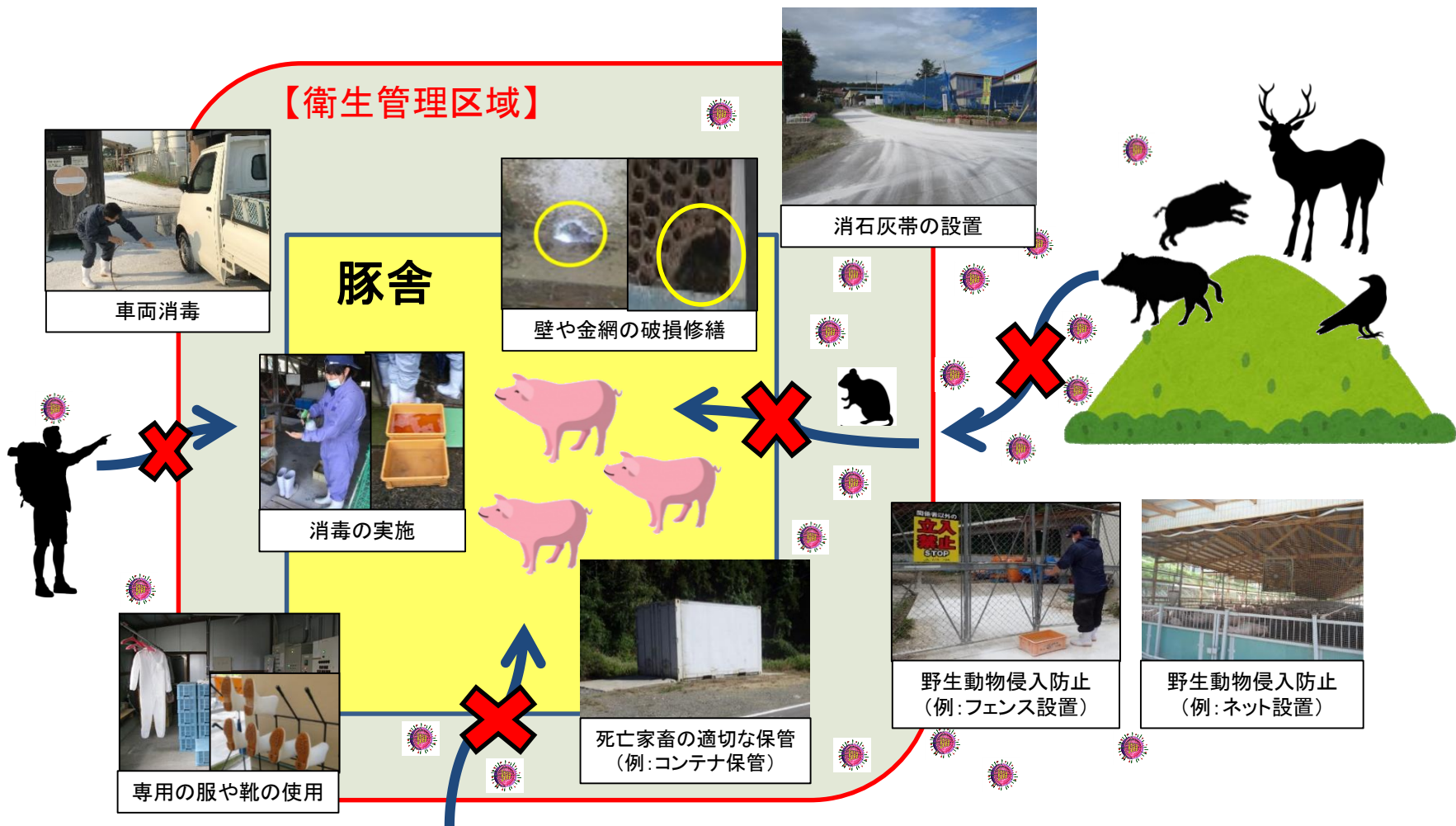
～アジア(11カ国)～

中国	韓国
モンゴル	東ティモール
ベトナム	
カンボジア	
香港	
北朝鮮	
ラオス	
ミャンマー	
フィリピン	

～ヨーロッパ(19カ国)～

アルメニア	リトアニア	ハンガリー
アゼルバイジャン	ポーランド	ブルガリア
ジョージア	ラトビア	ベルギー
イタリア(サルジニア島に限る) ^{※3}	エストニア	スロバキア
ロシア	モルドバ	セルビア
ウクライナ	チェコ	
ベラルーシ	ルーマニア	

※ 出典:OIE 等

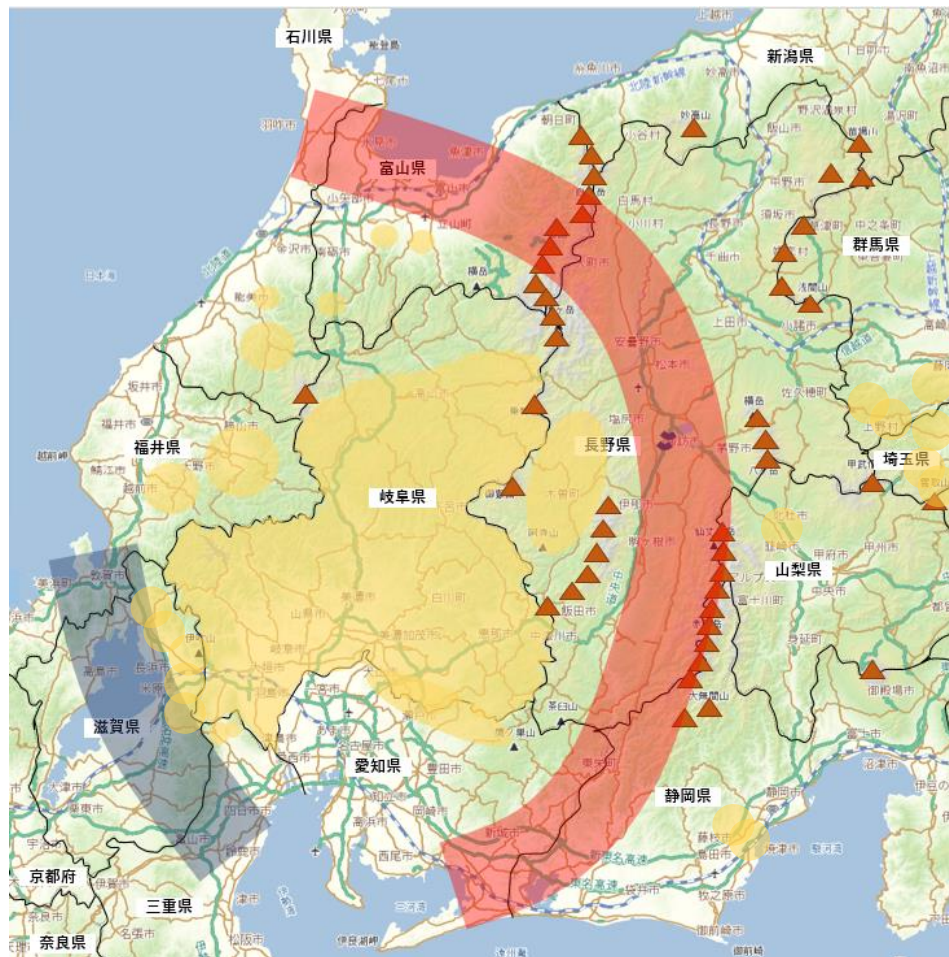


①人・物・車両によるウイルスの持込み防止

- ・衛生管理区域、豚舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
- ・衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用の徹底
- ・人・物の出入りの記録
- ・飼料に肉を含み、又は含む可能性があるときは、あらかじめ
摂氏70度・30分以上又は摂氏80度・3分以上の加熱処理を徹底

②野生動物対策

- ・飼料保管場所等へのねずみ等の野生動物の排せつ物の混入防止
- ・豚舎周囲の清掃、整理・整頓
- ・死亡家畜の処理までの間、野生動物に荒らされないよう適切に保管



■ : ワクチンベルトのイメージ

▲ : 山(2,000m以上)

● : 野生イノシシ陽性エリア

○ CSFウイルスの日本全国への拡散を防ぐため、ワクチンベルトの関係県と協議の上、具体的な散布エリアを確定。

○ 9月以降、各県においてワクチンベルトの散布作業を実施。

:9月18日～ 石川県

23日～ 三重県

24日～ 富山県

25日～ 静岡県

30日～ 愛知県、長野県、滋賀県

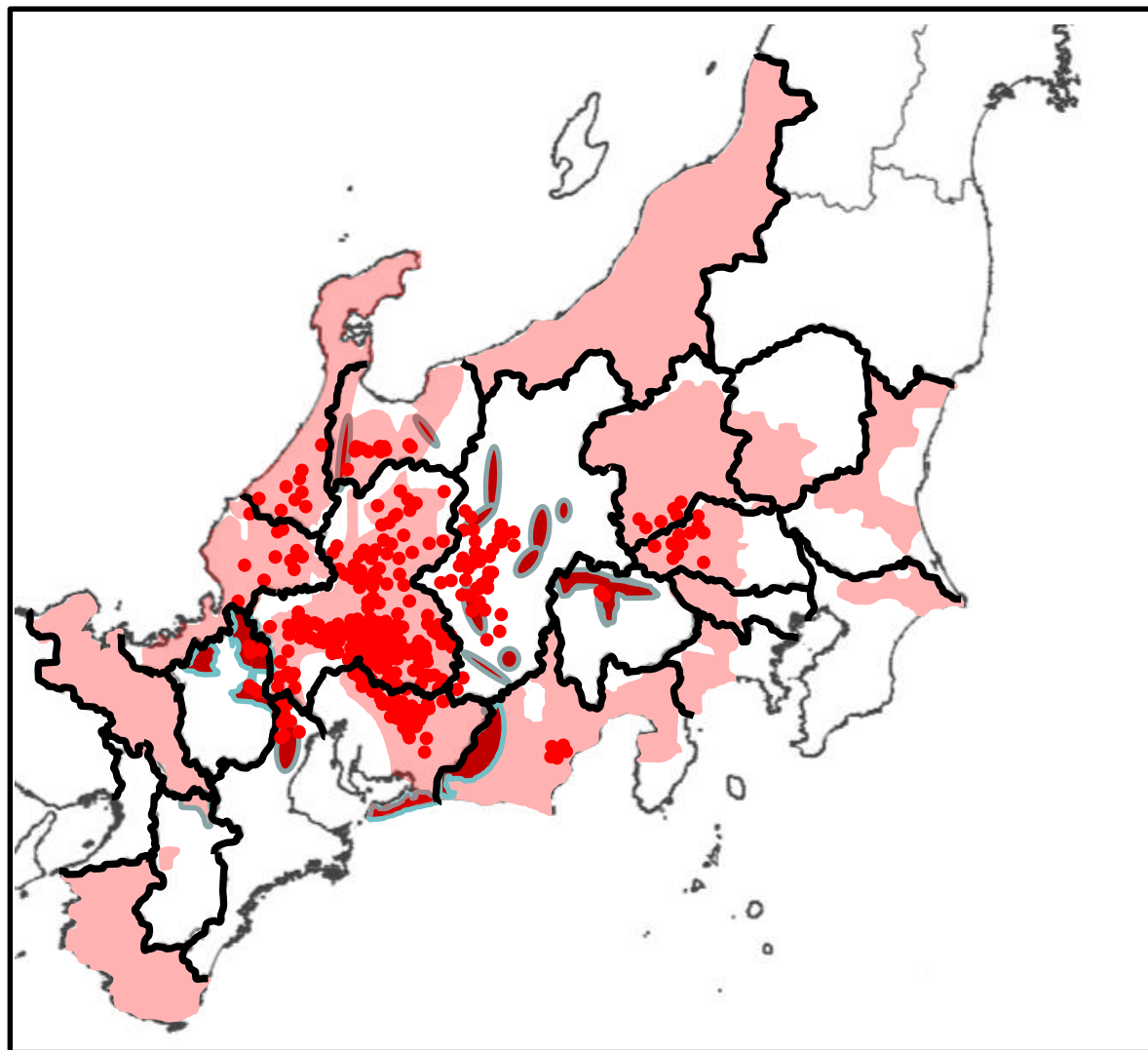
:10月4日～ 福井県

○ 今後も、野生イノシシのサーベイランスの結果に基づき、対象県の見直しも含めてベルト構想を改善しつつ、散布を実施。

(埼玉県、群馬県、静岡県の陽性確認地点の周辺で、局所的な散布を実施。)

CSFに係る捕獲重点エリアの設定概要

- CSF陽性の野生イノシシが確認されている県及びその隣接県の21都府県において、養豚場の周辺や、イノシシの移動制限に重要な地域を捕獲重点エリアに設定。



- 捕獲重点エリア
- 捕獲重点エリアのうち各県で特に重視する地域（「防衛ライン」等）
- 野生イノシシ陽性地点（一部略）

※ 21都府県

岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、福井県、石川県、富山県、長野県、静岡県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、京都府、奈良県、和歌山県

（新潟県においては市町村等と最終調整中）